

思い出を胸に 一人で巣立つ

奥小・外間南さん

【国頭】国頭村立奥小学校(あらたむねのりこうがっこう)新田宗則校長)で18日、卒業式が行われ、ただ一人の卒業生外間南さん(12)が6年間の思い出を胸に学びやを巣立った。家族や在校生、地域住民らに見守られる中、門出に立った外間さんは「将来の夢はパティシエ。みんなを幸せにするケーキを作りたい」と笑顔で語った。



家族や在校生、地域に囲まれて花道を渡る笑顔の外間南さん。18日、国頭村立奥小学校

PTA会長を務める母智子さんがあいさつに立つと、笑みがこぼれた外間さんだが、在校生と送別の言葉を交わすと、涙ぐむ場面もあった。

卒業の花道を送られた外間さんは「運動会や宿泊学習、お茶摘みが楽しかった」と振り返り「中学では部活と勉強を頑張りたい」と目を輝かせた。



読んで温かい NIE
な先輩を見習ってほ

卒業生、地域で祝福

3年ぶりの お祝い盛大

北国小・浦崎 上原さん

【国頭】在籍5人の国頭村立北国小学校(川口正一校長)で18日、3年ぶりの卒業式が催され、地域住民らが祝福する中、浦崎由美さん、上原鈴々さんの



3年ぶりの卒業式で佳民らの祝福を受ける(左から)浦崎由美さん、上原鈴々さん。18日、国頭村立北国小学校

2人が学びやから巣立った。卒業式には保護者だけでなく、住民や今年卒業生がいない隣接校の佐手小児童7人も参加した。

「卒業おめでとう」の垂れ幕が入ったくす玉で卒業を祝った。式終了後の花道では、卒業証書を手歩く2人に、花やお菓子で作った冠など祝福の品が次々に手渡された。

6年間通った小学校を卒業する浦崎さんは「寂しかったけれど、中学に入ったら友達をたくさんつくって楽しく過ごしたい」と笑顔で話した。

6年生の5月に辺土名小から転校してきた上原さんは「こんなに人数が少ない卒業式は初めてだけど、人数が少ない代わりに盛大にお祝いしてもらってうれしい」と喜んだ。

赴任して2年目の川口校長は「子ども一人一人の存在の大きさをあらためて感じた。地域で大切に育てられていることが実感できた」と地域の協力に感謝した。